

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	コード	名 称	会計	コード	名 称	
981	伊賀市教育研究センター事業	会計	01	一般会計		
基本施策	31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	款	10	教育費	
			項	01	教育総務費	
			目	04	教育研究センター費	
担当部課名	教育部 学校教育課		細目	101	伊賀市教育研究センター経費	
作成者氏名	加納 圭子	連絡先	22-9676	細々目	01	伊賀市教育研究センター管理運営経費

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	教職員及び教育・文化関係の団体 不登校児童生徒	教職員に研修の場を提供することにより、学校教育を活性化することができます。学校事務共同実施の場として充実した学校事務の推進ができます。また、教育・文化関係等の活動を行うために必要な場を提供することにより、教育・文化関係の団体等が自主的な活動を行うことができます。不登校児童生徒に対する支援の場として適応指導及び教育相談を実施し、学校復帰につなげます。
本年度事業内容	1. 伊賀市教育研究センターの整備と運営及び維持管理	
運営主体	直営 (委託先:)	指定管理 民間委託等 根拠法令・要綱等 伊賀市教育研究センター設置条例
市内の類似施設		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
	人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
支出内訳 (千円)	事業費(B)	3,807	10,130	10,130
	委託料		2,174	2,174
	報酬	1,766	3,160	3,160
	需用費	850	1,611	1,611
	その他	1,191	3,185	3,185
合計(A+B)		7,407	13,730	13,730
財源内訳 (千円)	特定財源			
	国県支出金			
	受益者負担		360	723
	その他特財			
一般財源		7,407	13,370	13,007
上記 ~ に関する特記事項				
平成17年度については、平成18年1月に教育研究センター開設。				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
利用許可件数(専用利用含)	件	20	200	200			
開催研修会数	件	3	10	12			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
開催研修会数	利用満足度などを指標とするべきであるが、把握が困難なため本指標を採用します。	件	7 目標 (10)	10	12
		件	目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

平成17年12月より伊賀市教育研究センターとして活動を開始した。上野適応指導教室、学校事務共同実施事務室等をはじめとして、会議や研修会等開催の場として活用されている。しかし、それまで小学校施設として存在していた建物であるため、各所にわたり補修等の必要が生じ、その対応に苦慮している。施設整備の充実がさらに必要である。また、伊賀市教育研究会と連携し、教職員の研修の拠点として、ニーズに応じた研修会を開催します。

評価	必要性	4	伊賀市教育研究センターは、市内の教職員の研修の拠点として運営を開始したところであるため、さらに、施設を充実させ、研修会等の開催を積極的に行い、教育活動の充実に役立てたいと思います。また、教育・文化関係の諸団体が有効に活用できるよう市民への周知を図っていきます。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		